

# ENGINEERING NEXT DOOR

▶ SAITO-CONSULTANT ENGINEERING NEXT DOOR

受付  
18.3.06  
キャリアセンター

それは、いつでも隣にある技術。  
それは、あしたの扉を開く技術。

Engineering Next Door。これをまず「お隣の技術」と意識してみます。あなたが現在住んでいる場所の隣には、何が存在しているでしょうか。町を構成する一般住宅。道路や橋梁。また、自然のままの山や川。私たちサイトコンサルタントが手掛ける建設コンサルタント業務とは、それら全てに影響を与える、非常に幅の広い事業なのです。その役割を一言でまとめるならば、自然や環境の姿を様々な側面から計測・把握し、その場を人間と社会が活用していく手段を考察し、その是非を問うこと。私たちは様々な専門的技術を有し活用する事で、広義の「町づくりと環境づくり」を推進する技術者集団、つまり「常にあなたの隣に在る」存在なのです。地域社会をピンポイントではなく、マクロ的視点で動かす。それは身近ながらも、非常に大きな仕事です。



Engineering Next Door。今度はこれを「次の扉の技術」と意識しましょう。町づくり・環境づくりに必要となる要素は、時代の流れや社会の変化に伴って、変遷を続けていくものです。例えば10年前なら平気で建設が進められた道路も、現在の環境保護の視点に照らし合わせれば「建設すべきではない」という判断が下されたりもします。私たちは地域社会づくりに関わる企業として、常に最新・最善の基準を採り入れ、提案に反映させていきます。ただ求められたデータを提出するのではなく「次世代の鳥取はこう在るべきだ」という理念を持ち、その実現を目指していきます。そのために近年、測量・設計・地質調査という従来事業に加え、新たに環境調査事業への取り組みも本格化させました。明日の扉を開くために。私たちもまた、変わり続けます。



さあ、リビルドしよう。

存在価値を、考えよう。

存在意義を持たない企業は、事業を存続する事が出来ません。調査対象に求められるデータだけを機械的に提出するだけ、また道路設計に関しても通り一遍の図面を作成するだけ。そうした仕事は「どこでも出来る」のです。開発とは、無から有を創り出す事業。目指すものをどこに置かによって、その品質は全く異なってきます。そうした意味では当社の「総合的サービス」は、大きな力になると考えています。単なる調査・設計に留まらず、地域でも手掛ける企業の少ない「環境調査」への取り組みをアウトプットに反映させていける技術力。これはサイトコンサルタント独自の付加価値として、当社の存在意義を大きく高めてくれる要素です。鳥取に「絶対に必要な企業」となるために。私たちは今、自らのサービスにより真摯に向き合い、磨き上げていく段階に在るのです。



「ONLY1」を築く力。

事業の展開にマニュアルは存在しません。自分たちにしか出来ない事をサービス・事業として確立していくのは、そこに働くスタッフひとり一人の想いの力です。例えば当社の地質調査部門は、ある社員の「地質調査も行える総合力を育成しないと、これからのコンサルタント会社は、成り立たない。」という考えからスタートしたものです。社員が自らの仕事に強い想いを持ち、その高度化のために新たな事に挑戦する。その結果として、提供できるサービスが他の企業には無い独自性や価値を持つ。このプロセスを通して「ONLY1」の業態を確立していく事が、私たちの事業構築における理想形です。幸いにして当社は、以前から若いスタッフを積極的に採用してきた歴史を持っています。また私自身の社長歴も、まだ始まったばかり。変化のためのパワーは十分な組織です。さあ、一緒にこの会社と地域社会を、リビルドしていきましょう!



代表取締役社長  
西藤 拓

# 測量

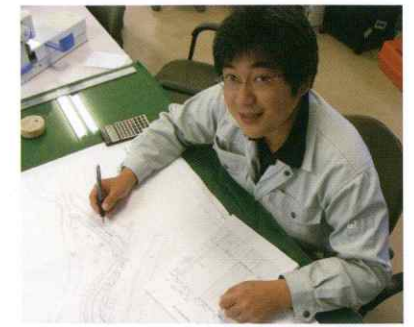


## 前人未到の地に足あとを刻む。

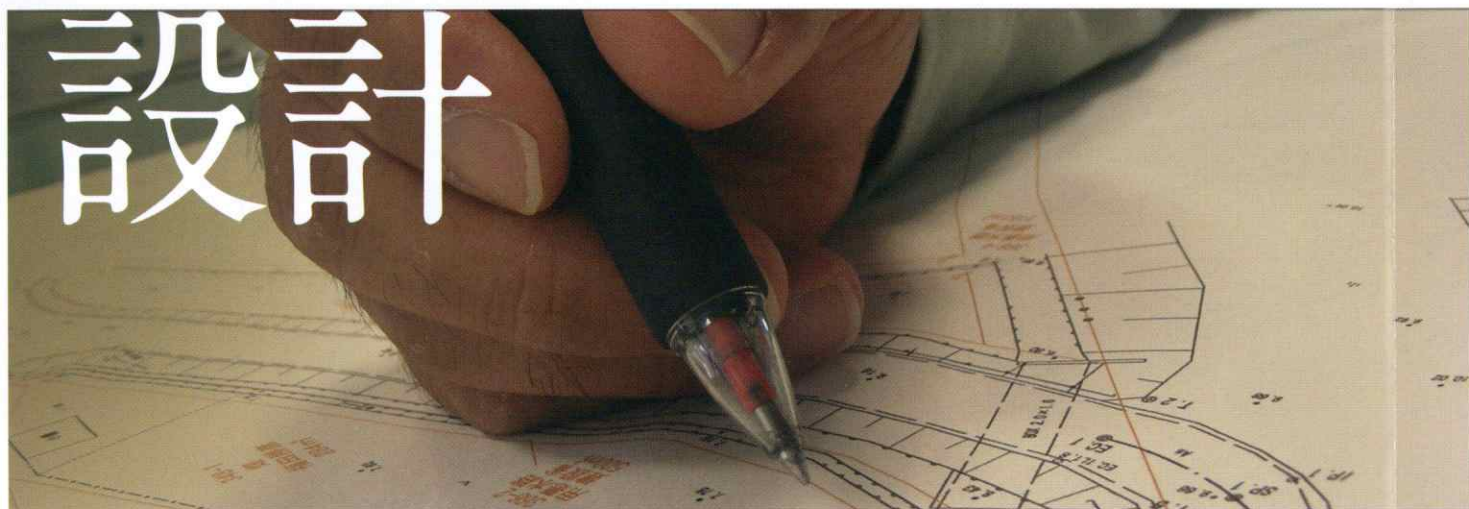
測量部 山下洋介

当社の手掛ける業務はほぼ公共事業なのですが、寄せられるオーダーは例えば「ここからここまで道路を造りたいので、設計図面を出してほしい」という大まかなもの。測量部門の役割はその図面の精度を向上させていくために、現地の詳細な三次元データを収集していく、というものです。つまりただ測量する事が仕事ではなく、設計部門や地質調査部門と連携しつつ、提案のクオリティを高めていく事が重

要なのです。そうした観点に立って仕事をしていくと、自分に何が求められているのかという成長のポイントもイメージしやすいですね。時には大雪を掻き分けて山奥に出掛けたり、クマの寝床を横切ったりと、アクティブな仕事ならではの苦勞も少なくありません。しかしまず自分が手つかずの自然を踏み分けてその姿を明かし、その後の開発の道筋を創っていくというダイナミズムは大きな魅力です。



# 設計



## 一本のラインで地形を変える。

設計部 山田 雅

道路・砂防・ダムなどの社会インフラの設計が、現在のメイン業務です。ここで言う設計とはただ図面を描き起こす仕事ではなく「開発対象地にどのように手を加えていくか」まで全てを設定していく役割を持つんですね。例えば道路であれば、ルートはもちろん通行量に応じた路線数、カーブの半径や勾配角度、それら全てを基準に合わせて設定していくのです。地図の上で自分が引いた線が、後の道路や建造物になっ

ていくワケですね。もちろん社会や環境に与える影響も甚大で、プレッシャーも手応えも非常に大きな業務です。この仕事に求められるのは設計技術だけではなく、正確な計画を立案していくためには、地質に対する知識や、開発現場の環境を理解する事も重要です。社内での他部門のスタッフとのチームワークが全ての基本なんですね。それだけに経験できる事も多く、成長の幅も大きいですよ。



# 環境調査



## もの言わぬ者の声を聞きとる。

環境化学分析センター 山崎寛子

環境調査の領域とは非常に広いものです。騒音や大気、水質。また地域に生息する生物層。環境を構築するあらゆる要素が対象となりますし、それらのデータをどう提案に活用していく事が出来るかで「コンサルタントの実力・価値」が決まってくるのです。事業部門としてユニークなのは「ここまでしかするな」という制限が一切無いこと。私は元々生物を学んできましたから、現在の業務も自然とその方面にシフトして

いるのですが、その専門性もまた「会社の強み」になっていく。自分の興味や関心が「地域の社会づくり」に直結していく面白さは、なかなか他で味わえるものではないと思います。現在は開発にあたっての環境調査の重要性が、地域にも少しずつ浸透している段階。今後はニーズもより多様化し、増加していくはず。そこに自分が能動的に関われる事が、とても嬉しいですね。



## 地質調査

全ての土台を解析するジオドクター。

地質課 桑本忠夫

地域環境は「見えるもの」ばかりで成り立っているわけではありません。むしろ開発の際に重要となるのは、地質・土質・基礎地盤・地下水など地下の不可視部分。これらのデータを収集・診断するのが、地質課の役割です。当社はこの

業務に地域業界でも早くから取り組み、ボーリングを含む現地調査・室内土質試験などの基礎部分に精通した技術者を多く擁している事が強み。技術的蓄積をより多角的に活用していく事が、今後のテーマです。



## 補償

迅速な開発を幅広い知識で支える。

補償課 財間 悟

開発事業は周辺環境に大きな影響を与えます。補償課の業務は中でも住宅・建物などへの影響を調査し、またその移転が必要な際にどのような補償が必要かを算出していくという「社会インフラのスムーズな整備促進」を支えるもの

です。この業務には建築に関する知識はもちろん、税務・会計・機械設備など様々な分野のノウハウが必要となってきます。仕事の意義そのものに加えて、多岐に渡って様々な知識が得られる点が、大きな魅力ですね。



# 明日に続く、組織を築く。

## 施行実績



## 保有資格

測量士	
測量士補	
技術士	建設部門 森林部門 環境部門
技術士補	建設部門 農業部門 環境部門
コンクリート診断士	
環境計量士	濃度関係 騒音・振動関係
1級土木施工管理技士	
2級土木施工管理技士	
1級造園施工管理技士	
2級造園施工管理技士	
1級舗装施工管理技士	
RCCM	河川、砂防及び海岸・海洋部門 港湾及び空港部門 道路部門 上水道及び工業用水道部門 下水道部門 農業土木部門 森林土木部門 造園部門 都市計画及び地方計画部門 地質部門 土質及び基礎部門 鋼構造及びコンクリート部門 建設環境部門
地質調査技士	
測量専門技術者	2級基準点 路線測量設計 河川測量設計 用地測量調査 防災調査
下水道第2種技術検定	
下水道第3種技術検定	
公害防止管理者	水質関係第一種
作業関係測定士	第一種
臭気判定士	
シックハウス診断士補	
補償業務管理士	土地調査部門 物件部門 営業補償・特殊補償部門 機械工作物部門
農業土木技術管理士	
畑地かんがい技士	

## 会社概要

社名	サイトウコンサルタント株式会社
所在地	鳥取県鳥取市千代水2-121-2
電話	0857-31-4808
FAX	0857-31-4820
メールアドレス	info@saitocon.jp
代表者	西藤 拓
資本金	2,400万円
設立	昭和61年3月
事業内容	総合建設コンサルタント・計量証明事業

## 沿革

昭和61年	有限会社サイトウ設計事務所を設立、測量業者に登録
昭和63年	倉吉営業所を開設、本社を鳥取市南隈に移転
平成元年	本社を鳥取市叶に移転、社名をサイトウコンサルタント株式会社に変更
平成4年	本社を鳥取市千代水2丁目121-2に移転
平成6年	補償コンサルタントに登録
平成10年	米子営業所を開設、建設コンサルタントに登録
平成11年	地質調査業者に登録
平成13年	ISO9001認証取得
平成15年	土壤汚染対策法に基づく指定調査機関に認定
平成17年	計量証明事業所に登録
平成19年	特定労働者派遣事業に登録
平成20年	建築物飲料水水質検査業に登録